



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名 空港施設株式会社

上場取引所 東

コード番号 8864 URL <http://www.afc-group.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 朋敬

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員経理部長 (氏名) 村石 和彦

TEL 03-3747-0251

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

平成25年11月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	10,528	△0.7	1,893	2.0	1,854	△8.2	1,064	△10.0
25年3月期第2四半期	10,600	3.4	1,856	15.8	2,019	24.5	1,181	46.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,522百万円 (60.1%) 25年3月期第2四半期 951百万円 (5.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	20.59	—
25年3月期第2四半期	22.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	74,436	48,200	62.8	905.49
25年3月期	73,317	47,026	62.2	882.80

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 46,780百万円 25年3月期 45,607百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,170	0.5	3,380	0.5	3,130	△10.3	1,730	△2.9	33.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、[添付資料]3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	54,903,750 株	25年3月期	54,903,750 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	3,241,798 株	25年3月期	3,241,454 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	51,662,107 株	25年3月期2Q	51,662,491 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については[添付資料]2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（以下、「当期」という。）における我が国経済は、金融緩和や円安等の各種政策の効果が発現するなかで、輸出が持ち直し、民間消費や設備投資の増加傾向が続き、株式市場が上向き、景気回復の動きが確かなものとなりつつあります。一方で、輸入物価の高騰や海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっております。

航空業界におきましては、引き続き国内線の旅客数が好調に推移しており、夏季繁忙期間の国内旅客実績は多くの航空会社で前年を上回りました。大手航空会社が供給を増強するなか、昨年参入した国内LCC各社は、就航以来ハイペースで就航先や便数を増加させており、航空会社間の競争は一段と激化しております。また、順調に回復している景気に支えられて、今後も堅調な需要の継続が期待されておりますが、円安と燃油費の高止まりによる費用負担が収益に悪影響を与えているため、航空各社は引き続き経費圧縮を中心とした経営改善努力を行っております。

なお、当社の事業拠点である東京国際空港におきましては、来春の国際線の発着枠増加に備えて、ターミナル拡張等の機能強化が図られていることに加え、さらに先般、2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催が決定し、今後更なる容量拡大が検討されることになっており、当社も事業拡張の機会と捉え、関係各方面との連携を密に取り組んで参ります。

このような経済状況のもとで、当社グループ（当社及び連結子会社）の当期業績につきましては、売上高は10,528百万円（前年同四半期比0.7%減少）、営業利益は1,893百万円（同2.0%増加）、経常利益は子会社からの配当金が減少したことにより1,854百万円（同8.2%減少）、四半期純利益は1,064百万円（同10.0%減少）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、大手航空会社の経費圧縮の影響を受けてはおりますが、前期中の東京国際空港での大型テナント入居、及び北九州空港トレーニングセンターの賃料収入の通年化等により、売上高は7,389百万円と前期比286百万円増加（4.0%増加）となり、営業利益は、既存施設の減価償却費の減少等により1,354百万円と前期比94百万円増加（7.5%増加）となりました。

②熱供給事業

熱供給事業は、東京国際空港一丁目地区における供給先の減少等により、売上高は1,954百万円と、前期比280百万円減少（12.5%減少）となり、営業利益は、電気料やガス料の値上り等があり、340百万円と前期比132百万円減少（28.0%減少）となりました。

③給排水運営その他事業

給排水運営その他事業は、大阪国際空港での給排水運営事業の契約形態が変更となったことにより、売上高は1,185百万円と前期比78百万円減少（6.2%減少）となりましたが、営業利益は、東京国際空港での保守管理委託業務の外注費の大幅削減や、地代の減少等があったことにより、199百万円と前期比76百万円増加（61.3%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、建設中である、空港内の機内サービス提供施設や空港勤務者向け单身寮の建設仮勘定への計上による増加や、株価上昇による投資有価証券の含み益の増加等により、前連結会計年度末比1,120百万円増加の74,436百万円となりました。

(負債)

負債は、大きな動きはなく、長期借入金の調達による増加はあったものの、約定返済が若干上回ったため、前連結会計年度末比54百万円減少の26,236百万円となりました。

(純資産)

純資産は、当期純利益の計上による利益剰余金の増加、及び有価証券の評価差額金の増加等により、前連結会計年度末比1,174百万円増加の48,200百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は62.8%と前連結会計年度末に比べ0.6ポイント増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月14日付の平成25年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）で発表いたしました、平成26年3月期の連結業績予想に、変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,937,693	2,002,153
受取手形及び売掛金	1,104,213	1,079,418
リース投資資産	1,941,007	1,927,590
原材料及び貯蔵品	46,175	39,488
繰延税金資産	220,842	220,842
短期貸付金	799,712	—
その他	456,394	2,254,284
流動資産合計	6,506,036	7,523,775
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	47,731,536	46,512,277
機械装置及び運搬具（純額）	3,125,742	3,451,161
工具、器具及び備品（純額）	37,284	36,005
土地	8,627,706	8,664,706
建設仮勘定	1,502,063	2,060,906
有形固定資産合計	61,024,331	60,725,055
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	3,490,582	4,141,546
長期貸付金	6,266	5,642
繰延税金資産	1,801,151	1,569,148
その他	422,885	422,779
貸倒引当金	△30,600	△30,600
投資その他の資産合計	5,690,284	6,108,515
固定資産合計	66,810,729	66,912,616
資産合計	73,316,765	74,436,391

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,257,057	657,456
短期借入金	4,247,722	3,942,092
未払金	715,383	209,301
未払法人税等	478,046	732,075
未払費用	153,850	57,993
前受収益	813,465	1,785,993
賞与引当金	120,200	131,441
役員賞与引当金	21,038	27,600
有形固定資産撤去費用引当金	258,964	261,015
その他	968,940	1,200,248
流動負債合計	9,034,665	9,005,214
固定負債		
長期借入金	11,645,140	11,840,894
長期預り保証金	5,012,653	4,807,519
長期設備関係未払金	308,118	308,118
退職給付引当金	73,676	94,643
役員退職慰労引当金	216,364	180,007
固定負債合計	17,255,951	17,231,181
負債合計	26,290,616	26,236,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,826,100	6,826,100
資本剰余金	6,982,921	6,982,921
利益剰余金	32,746,818	33,500,379
自己株式	△1,561,637	△1,561,872
株主資本合計	44,994,202	45,747,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	613,054	1,032,014
その他の包括利益累計額合計	613,054	1,032,014
少数株主持分	1,418,893	1,420,454
純資産合計	47,026,149	48,199,996
負債純資産合計	73,316,765	74,436,391

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	10,600,070	10,527,549
売上原価	7,976,595	7,872,271
売上総利益	2,623,475	2,655,278
販売費及び一般管理費		
役員報酬	110,724	126,924
給料及び賞与	214,924	197,453
賞与引当金繰入額	74,905	71,448
役員賞与引当金繰入額	21,038	27,600
旅費交通費及び通信費	41,128	44,985
租税公課	40,427	41,456
減価償却費	17,635	16,312
その他	247,095	236,362
販売費及び一般管理費合計	767,876	762,540
営業利益	1,855,599	1,892,738
営業外収益		
受取利息	215	19
受取配当金	350,285	86,813
受取手数料	7,354	2,436
匿名組合投資利益	13,794	15,378
その他	37,298	37,808
営業外収益合計	408,946	142,454
営業外費用		
支払利息	146,826	123,620
固定資産撤去費用	98,645	54,704
その他	454	3,254
営業外費用合計	245,925	181,578
経常利益	2,018,620	1,853,614
特別損失		
固定資産除却損	40,118	25,047
役員退職慰労金	495	—
特別損失合計	40,613	25,047
税金等調整前四半期純利益	1,978,007	1,828,567
法人税等	734,706	725,144
少数株主損益調整前四半期純利益	1,243,301	1,103,423
少数株主利益	61,865	39,890
四半期純利益	1,181,436	1,063,533

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,243,301	1,103,423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△292,416	418,961
その他の包括利益合計	△292,416	418,961
四半期包括利益	950,885	1,522,384
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	889,020	1,482,494
少数株主に係る四半期包括利益	61,865	39,890

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

海外子会社の設立

当社は、平成25年10月31日開催の取締役会において、シンガポールに現地法人を設立し、現地事務所を開設する方針を決議いたしました。

・設立目的

今後、海外における航空関連施設の建設、取得及びその施設の航空関連企業への提供を行うため。

商号、設立時期、事業内容、資本金の額、出資比率については未定であります。